



Japan Municipal Hospital
Association · Partners

かけはし

2020年

春

Vol.11

全国自治体病院協議会・賛助会広報誌
<http://www.jmha-p.net/>



自治体病院とともに52年

理念

公益社団法人全国自治体病院協議会と自治体病院の発展に寄与することを目指します

基本方針

- ① 協議会と協議会所属病院が行う事業に対し協力します
- ② 会員を対象とする研修会等を実施します
- ③ その他本会の目的達成のため必要な事業を行います

会員

病院事業に関わる事業を営む者で本会の主旨を十分に理解した法人です

撮影:賛助会 第3ブロック 平野武信氏

巻頭

公益社団法人全国自治体病院協議会
中島 豊爾 副会長インタビュー

新入会社紹介

●新たに加盟した3社の紹介

賛助会活動報告 / 賛助会会員名簿

中島 豊爾 副会長 インタビュー

なぜ医者になった 原点に

聞き手：全国自治体病院協議会・賛助会

伊藤 誠 会長

藤本陽子 副会長

河尻浩司 副会長

渡辺孝浩 広報委員長

これからの精神科医療は・・・

賛助会

2016年に一度インタビューさせていただき、二度目のインタビューになります。先生は新しい精神科の団体(一般社団法人日本公的病院精神科協会)を立ち上げられ、本日は業務ご多忙のところ時間を作っていただき感謝しております。ところで先生は協議会役員の中で一番長く副会長職を歴任されていらっしゃるんですね。

中島副会長

当時の小山田会長(故人)から「君、ぼつぼつ副会長をしたまえ」と急に電話で言われてもう14年経ちました。

賛助会

14年ですか。その間に日本の医療政策も随分と変わりましたが、これからの精神科医療をどうするかはとても大きな課題だと思うんですが。

中島副会長

昨年9月26日に厚生労働省は424の公立・公的病院に再編統合の必要性について再検証を求めました。その後430病院くらいになったけど、あの公表はおかしいと思いませんか?精神科医療が除外されているんです。実は地域医療構想を検討した時には精神科医療は入っていたんです。それが最終的に除外された。今、病床が一番余っているのは精神科病床ですよ。どうしてそこに手をつけないのかなど。

賛助会

病床が余っていたとしても、認知症の患者さんを受け入れる病院は少ないと思うんですが。

中島副会長

認知症がまだ珍しく精神科が診ていた時代もありまし

た。ただの齢による耄碌だけなのに認知症という病気だと言われるのは家族も嫌なんでしょうし、精神障害とも違うので。でも家族は認知症患者の面倒はみてあげられない。これからの時代、介護してくれる人は減っていくわけですから、介護する人をどう確保するかが重要な課題だと思います。

賛助会

認知症も増えていますが、今の世の中を見ますと、事件、事故、災害の後の心的ストレスの治療が増えてきているように思えます。精神科の先生方が診なければいけない領域が相当広がってきていると思います。

中島副会長

精神科は本当に診なければいけない領域と、押しつけられて増えている領域と両方あるんです。

日本の精神科医療と欧米の精神科医療の違い

賛助会

欧米の精神科医療の考え方と、日本の考え方とで何か違いはありますか?

中島副会長

欧米では自立できないところを手助けするという形です。精神科医療の中で一番その形に近いのがアルコール依存症の治療で、ほとんどが外来治療です。肝臓が悪くなって入院しても数値がよくなったら退院しますね。でも依存症の患者は必ず入退院を繰り返します。そういう時に依存症治療を導入しないといけない。それは外来治療で、入院治療ではないということです。

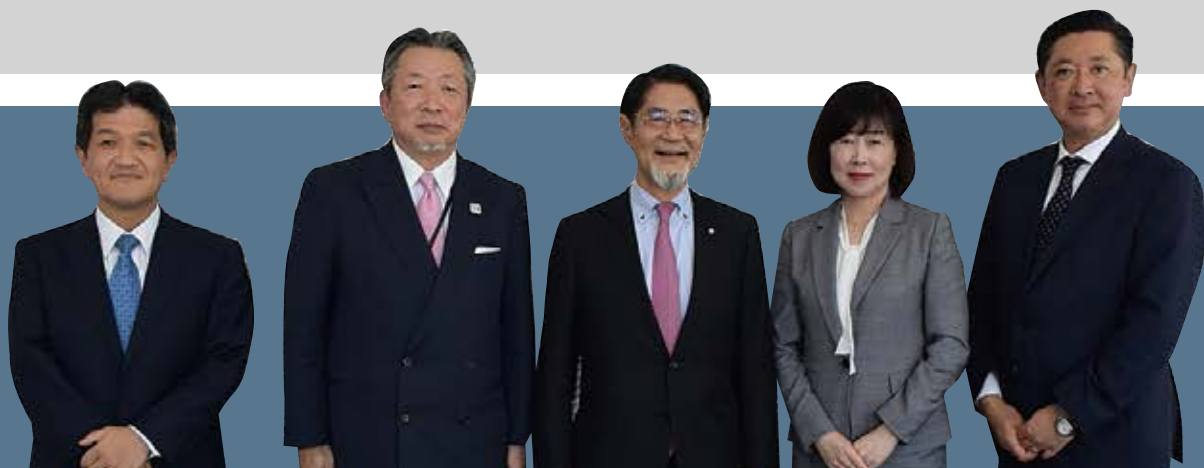
賛助会

日本だと依存症患者と一緒に生活して大丈夫かと不安を持つ方も多いと思いますが、欧米の方は受け入れられるのでしょうか。

中島副会長

欧米の人達すべてが依存症患者と一緒に生活できると思っているかは疑問符がつきます。また、欧米では賛成

のか 戻ろう



か反対かを問われたときに、反対の行動をきちんととらない人は賛成しているのと同じだという論理がまかり通りますね。ただ、日本ではNOを言う人はおかしいと思う人もいます。これも怖いですね。これを止める手立ては、情報の透明化だと思います。透明化で困ることもあるとは思いますが、一人ひとりの考えていることは尊重されますから。ただしその情報の中にブラックボックスが増えてしまい、424病院は危ないと間違っ国民に伝わっているのではと不安視しています。

賛助会

自治体病院がどうあるべきかを地域の首長や政治家の方々そして官僚の方々と議論していかなければならない。更には医療業界を取り巻く団体との調整もある。たくさんの中でのしがらみの中で、患者と向き合って医療提供をしなければならぬ。これは結構しんどいですね。

中島副会長

人生はそんなものでしょう。どんな職業に就こうとも似たようなしんどさを抱えています。例えば設計業界でもこの提案は良いと思って設計したら採用されなかったり、良い提案でもないのに安いから採用しますとなったら腹立つでしょう。

賛助会

どこの自治体でも価値基準の最上位にコストがあるんです。安いかがどうかで選択する最上級のものであって、良い提案は二の次となり却下される事は寂しい気がします。

中島副会長

そこは却下ではなくて、時間をかけて「なぜか」という議論を行うことが必要です。それが文化。一人一人の「働き方改革」とはそういうことなんです。勤務時間だけの問題じゃない。そうすることで今より短い時間で国民が喜ぶことができると思うけどな。

医療の原点とは何か

中島副会長

「あなたは鬱状態」と言う医者がありますが、そんな診断

名があるか、と僕は言っています。「あなたは風邪状態です」とは言わないでしょ。ただ精神医学も気づかないうちに変化しているんです。自分は昔と今とやっていることは同じでも、若い医者がやっていることは変わってきている。そんな彼らの行動をまじまじと見ると嫌がられるから、僕はデータを見るようにしています。データを見ただけでトップは分からないとダメなんです。わずかに動くデータに対して理由や説明がつかないときは本気で考えないといけないし、早く気がつかないとダメ。また今はチーム医療の重要性が言われていますが、僕はチーム医療が責任感の欠如に繋がるのではと思っています。僕が医者になった頃は患者の経済状態も大体は把握していました。今はケースワーカーに聞いてください、と他人任せになる。自分がやらなきゃ誰がやる。田舎の病院はそうなっている。自分がやらなかったら患者さんが死ぬ。だから頑張るんです。

賛助会

以前も先生は賛助会で病院を造ってわしらを雇ってくれと仰ってましたね。

中島副会長

そう、医者は雇われればいい。その時には、病院の門前を掃く掃除のおじいさんで僕を雇って(笑)。昔、比叡山の麓へ高名な僧侶に会いに行ったけど、僕は何も感心しなかったな。だけど、そこで掃除していたおじいさんが素晴らしかった。こういう人が寺の宗教心とか心を伝えていっている。これが医療の原点になると思った。何のために医療をしているか、なぜ医者になろうとしたか、その原点に戻らないとダメ。医者が拜金主義に向かいすぎていけば医者の地位はどんどん下がる。そのためにも心を伝える医療が大切だと考えています。

今回のインタビューは中島副会長の専門分野である精神科医療についてお伺いしました。特別な領域と思っていましたが、携わる医療従事者の方々の思いは一緒なんだなと感じさせられました。

「成り立ち」

当全国自治体病院協議会・賛助会は全国自治体病院協議会が1962年4月に設立されたのを受け、自治体病院の発展に寄与することを目的とし、1968年7月17日に病院関連の有志企業によって結成されました。

現在は136社(2020年4月1日現在)が加入し協議会会員である自治体病院に対し医療にかかわる情報の提供、業務改善提案、学会、研究会、講習会、展示会等に対する協力等の事業を行っています。又、様々な行事を通し会員相互の向上を図るための活動も積極的に行っています。

主な活動

- 1 定時総会(年次活動報告、収支報告、監査報告)
- 2 協議会との意見交換会
- 3 研修会(講演会、病院見学会等)
- 4 新春賀詞交歓会
- 5 全国自治体病院学会やブロック会議への参加
- 6 協議会との情報交換会(協議会に対し最新事例や業界最新動向・情報を発信)
- 7 寄付活動(協議会及び学会へ)

1月9日(木) 令和2年 全国自治体病院協議会・賛助会 新春賀詞交歓会

場 所:ホテルルポール麹町(千代田区麹町)
令和2年新春賀詞交歓会は、ホテルルポール麹町にて開催され、全国自治体病院協議会、自治体病院共済会からも多数の皆様にご参加をいただきました。



2月13日(木) 賛助金贈呈式

場 所:全国自治体病院協議会(千代田区平河町)
賛助会から全国自治体病院協議会に対し、自治体病院の発展を願って、賛助金の贈呈が行われました。



2月20日(木)～21日(金) 令和元年度第2回研修会

場 所:館山シーサイドホテル(千葉県)
出席者は会員および来賓を含め総勢60名の参加となりました。
研修会1日目は第59回全国自治体病院学会長の松本 昌美 先生(全国自治体病院協議会 常務理事、南和広域医療企業団 奈良総合医療センター 院長)にご講演いただきました。
講演テーマ「過疎・高齢化の進んだ地域における地域医療構想実現に向けた病院再編事業とその効果」



新入会社紹介

第3ブロック

株式会社松村組

株式会社松村組は、創業126年を迎え、医療福祉施設も数多く施工実績があります。2020年1月7日からは、パナソニック株式会社とトヨタ自動車株式会社で設立した街づくり事業に関する合併会社「プライムライフテクノロジーズ株式会社」の一員として、街全体での新たな価値の創出をめざします。

会社HP

<https://www.matsumura-gumi.co.jp/>



会社HP

<https://www.sawai.co.jp/>



第4ブロック

沢井製薬株式会社

「なによりも患者さんのために」という企業理念のもと、優れた医療制度の維持・発展への貢献を通じ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

第5ブロック

株式会社ココカラファイン ヘルスケア

「人々のココロとカラダの健康を追求し、地域社会に貢献する」のもと、ドラッグストア事業、調剤事業、介護事業、インターネット販売事業などを連携させた「地域のヘルスケアネットワークづくり」を進めてまいります。

会社HP

<https://corp.cocokarafine.co.jp/index.html>



公益社団法人全国自治体病院協議会と共に52年
全国自治体病院協議会・賛助会

当賛助会は、公益社団法人全国自治体病院協議会への協力と自治体病院の発展に寄与することを目的としています。

**第1
ブロック** **医療機器部門
(25社)**

エア・ウォーター防災(株)
 協和医科器械(株)
 グリーンホスピタルサプライ(株)
 コヴィディエンジャパン(株)
 コニカミノルタジャパン(株)
 サカセ化学工業(株)
 サクラ精機(株)
 GEヘルスケア・ジャパン(株)
 シーメンスヘルスケア(株)
 (株)ジェイ・トラスト
 シスメックス(株)
 (株)島津製作所
 (株)タカノ
 (株)千代田テクノル
 テルモ(株)
 日機装(株)
 ニプロ(株)
 日本光電工業(株)
 (株)フィリップス・ジャパン
 フクダ電子(株)
 富士電機(株)
 富士フィルムメディカル(株)
 (株)ホギメディカル
 村中医療器(株)
 (株)理舎

**第2
ブロック** **設備部門
(41社)**

アーバス技研工業(株)
 IHI運搬機械(株)
 (株)アイホー
 アイホン(株)
 アクアス(株)
 アズビル(株)
 アルファグループ(株)
 (株)アルメックス
 (株)イトーキ
 (株)S&Sエンジニアリング
 (株)荏原製作所
 (株)オカムラ
 (株)くろがね工作所
 (株)ケアコム
 コクヨ(株)
 コマニー(株)
 斎久工業(株)
 三建設備工業(株)
 (株)三晃空調
 シーホネンス(株)
 三和シャッター工業(株)
 (株)スローライフジャパン

(株)セントラルユニ
 ダイダン(株)
 高砂熱学工業(株)
 田島ルーフィング(株)
 東西化学産業(株)
 (株)中西製作所
 日本空調システム(株)
 (株)日本シューター
 日本調理機(株)
 能美防災(株)
 (株)バートナ
 パラマウントベッド(株)
 不二サッシ(株)
 (株)フジマック
 フランスベッド(株)
 文化シャッター(株)
 ホシザキ東京(株)
 (株)LIXIL
 YKKAP(株)

**第3
ブロック** **設計建築部門
(30社)**

(株)梓設計
 (株)石本建築事務所
 (株)伊藤喜三郎建築研究所
 (株)医療開発研究所
 (株)奥村組
 鹿島建設(株)
 (株)教育施設研究所
 (株)楠山設計
 (株)久米設計
 (株)佐藤総合計画
 (株)昭和設計
 積水ハウス(株)
 (株)大建設
 大成建設(株)
 大和リース(株)
 (株)竹中工務店
 (株)田中建築事務所
 戸田建設(株)
 (株)内藤建築事務所
 (株)内藤ハウス
 西松建設(株)
 (株)藤木工務店
 (株)フジタ
 (株)プラスPM
 (株)松田平田設計
 (株)松村組
 三井住友建設(株)
 (株)村田相互設計
 (株)山田総合設計
 (株)横河建築設計事務所

**第4
ブロック** **製薬部門
(9社)**

エーザイ(株)
 共創未来ファーマ(株)
 沢井製薬(株)
 武田薬品工業(株)
 田辺三菱製薬(株)
 東和薬品(株)
 日本ケミファ(株)
 Meiji Seika ファルマ(株)
 持田製薬(株)

**第5
ブロック** **資材サービス部門
(31社)**

(株)アートネイチャー
 (株)INE
 (株)アイシーエム
 (株)アベックス
 (株)アメニティ
 (株)エヌジェーシー
 (株)エフエスユニマネジメント
 (株)MHA
 (株)エラン
 (株)LSIメディエンス
 (株)Open Health Initiative
 (株)グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン
 (株)ココカラファイン ヘルスケア
 (株)サンワ
 (株)シード・プランニング
 (株)ジェイワールドトラベル
 (株)じほう
 (株)ジャパンピバレッジホールディングス

(株)ソラスト
 大日商事(株)
 (株)トーカイ
 (株)ニチイ学館
 (株)日本経営戦略人事コンサルティング
 日通旅行(株)
 富士産業(株)
 ベストワールド(株)
 (株)ホスピタルヘルスケア
 (株)丸井工文社
 八尾医療PFI(株)
 (株)薬栄
 (株)リプトウコーポレーション

会員数 136社 2020年4月1日現在

※各会員企業へのご連絡・ご相談は…

全国自治体病院協議会・賛助会
<http://www.jmha-p.net/>
 QRコードで確認できます



2020年度 三役会社

会長会社
 副会長会社(会計)
 副会長会社(総務)

(株)伊藤喜三郎建築研究所
 (株)エヌジェーシー
 富士電機(株)